

「ほんわか・ほ」通信

023号 (22・03・15発行)

若穂地区住民自治協議会

本格スタートの年の 定期総会 は来る4月28日(水) に開催へ。

4月1日から長野市の《都市内分権》は本格的にスタート。32の住民自治協議会が、ある意味で「住民自治」の在り方を競うこととなります。若穂は新年度の定期総会を《4月28日(水)PM6:00～若穂支所》で開催することになりました。なお新会則に基づきより公開性を高めるため監査委員4名の内2名は一般公募となりますので、次号024号(4月1日付)で公募のご案内をおこなう予定です。

若穂のブログに、アクセス急増!!
『屋代線を残そう!市民の集い』の影響でしょうか、翌日から連続して3ケタのアクセスが続きました。
3月4日は 353PV・142IP
3月5日は 392PV・139IP
インターネットを接続している方、どうぞご覧ください。
「若穂自治協」でも検索できます。また、通信員をご希望の方ご連絡ください。(Email)

夏目雄平教授(千葉大教授・長野高卒・ふるさとNAGANO応援団)から寄贈された50冊の著書《小さな駅の小さな旅案内》→各地の鉄道の旅が紹介されていますが、屋代線沿線では松代がでてきます。教授のご希望もあり、綿内小・川田小・保科小と若穂中にも数冊ずつ届けしました。『屋代線を残そう!市民の集い』では、存続への熱いメッセージもいただいています(感謝)。



保科出身で、現在は東京都多摩市にお住まいのTさんは「たまちゃん通信」を寄稿しています。趣味の写真が素晴らしいですね。 ↑ (雪にメジロの写真)



↑ こちらは梅にメジロ。カラーでお見せできなくて残念ですが、紅い花によく映えます。目の周りが白いのでメジロ...

若穂に住民自治協議会が発足したのは一昨年(2020)の2月。市内30地区の中で16番目のスタートでしたが、あれから2年が経過しました。「自治協って何なの?」...そんな疑問にこたえて逐次説明会を開催してきましたが、2~3月にかけてはラッシュ状態。事務局スタッフがプロジェクターをかついで各区を回っています。廃線の危機に瀕している屋代線問題も大きな課題。スーパーも、バスも、電車もない若穂一にしないためにも、ここは地域の踏ん張りどころです。



3月7日は綿内の浦町、菱田、上町、町田の4区で開催されました。
← (町田区)

自治協説明会、各区で開催される!



スタッフはKさん差し入れのおにぎりで、まずは腹ごしらえ。これが実にウマカッタ～。

沿線地域の代表や市民が若穂に集まったこの『集い』は、存続に向けた第一歩。沿線が連携し「利用客が増えた」という成果をあげなければなりません。若穂では今後、プロジェクト「チーム屋代線」が具体的な提案をおこないます。ご協力ください。



講演は北陸信越運輸局の古田計画課長さん。往復「屋代線」に乗っての若穂入りでした。



オープニングはオリオン機械㈱□□社長の曲「河東線物語」と、屋代線への語りから・・・。

『屋代線を残そう！市民の集い』
松代からも電車に乗って50数名が参加



民鉄協会「小学生新聞コンクール」で優秀作品賞に輝いた、□□さんの提案です。



沿線関係者を代表して、地元の岡田市議が挨拶。河東地域の連携を確認しました。



参加者のお迎えや、プレゼント抽選会ではスパイダーマンとガンダムが大活躍！！

企画写真展 《懐かしの河東線》 開催中 ・ 若穂支所2Fロビー

展示しているのは複写・保存したうちの半分、約60点。長野電鉄㈱やOBのご協力によるものです。河東線の起工式や、初めの頃走っていたSL、駅職員の記念写真など貴重な資料。ご覧ください・・・。

